

令和5年度に 実施した主な事業

項目	主な事業名	金額
総務費	ふるさと納税推進事業	2億9,344万円
	市民バス運行管理事業	1億 351万円
	定住促進事業	3,581万円
民生費	障害者総合支援事業	7億9,983万円
	物価高騰対策給付金給付事業	3億2,042万円
	子ども・心身障害者医療費助成事業	1億5,965万円
衛生費	価格高騰緊急支援給付金給付事業	1億4,165万円
	病院事業会計に対する負担金・補助金・出資金	20億8,906万円
	新型コロナウイルスワクチン接種事業	2億6,562万円
水産林業費	各種検診事業	7,942万円
	中山間地域等直接支払事業	2,632万円
	有害鳥獣対策事業	1,702万円

項目	主な事業名	金額
商工費	商品券配布事業	1億 446万円
	白石スキー場運営事業	9,856万円
	物価高騰対策商品券配布事業	2,974万円
土木費	橋梁長寿命化対策事業	4億8,443万円
	スマートインターチェンジ整備事業	2億8,113万円
	中河原白石沖線街路事業	2億 753万円
	公園施設長寿命化対策支援事業 (益岡公園テニスコート、遊具の改修)	9,621万円
	道の駅整備事業	2,304万円
消防費	消防団等運営事業	7,778万円
教育費	学びの多様化学校管理運営事業	4,547万円
	外国語・国際理解教育推進事業	2,716万円
	学力向上プロジェクト事業	843万円
復旧費	社会教育施設災害復旧事業	9億7,439万円
	公立学校施設災害復旧事業	3,849万円
	林業施設災害復旧事業	3,781万円
	公共土木施設災害復旧事業	3,666万円



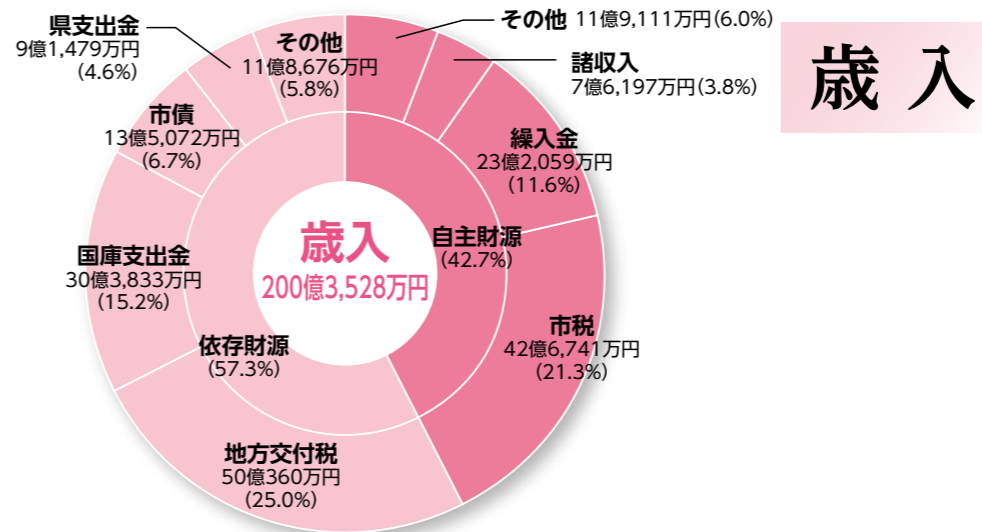
▲令和5年4月から公設民営の市立病院となった「公立刈田総合病院」【衛生費】 ▲児童生徒に多様な学びの場の選択肢を与える「白石きぼう学園」【教育費】 ▲地震で被害を受けたホワイトキューブの災害復旧工事を行いました【災害復旧費】

歳入
歳入は、市税、施設利用の際の使用料、発行の際の手数料や基金からの繰入金など、市が自主的に収入する自主財源と補助金や地方交付税など、国や県から配分を受ける依存財源に大別できます。

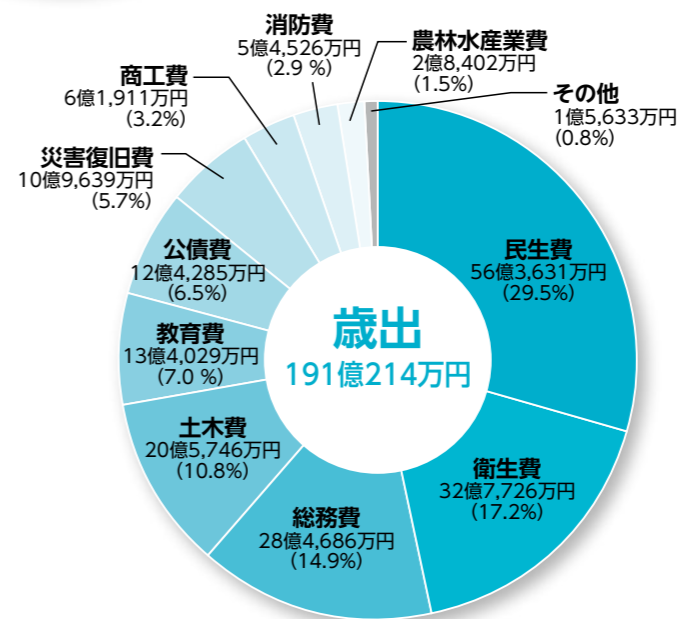
歳入金が約17.5億円の増加
自主財源は、約5.5億円増加しました。諸収入や寄附金、市税は減少しましたが、繰入金が白石市外二町組合の解散や病院事業債の繰上償還に関連し大きく増加しました。依存財源は、新型コロナウイルス対策や災害復旧事業に関連した国庫支出金や県支出金が減少したほか、地方交付税が減少したため、約3.6億円減少しました。

歳出
土木費が約5.7億円の増加
目的別の主な増減では、橋梁長寿命化対策事業費や中河原白石沖線街路事業費などが増加したことにより土木費が大幅に増加したほか、福島県沖を震源とする地震や令和5年度の大雨による災害復旧事業により災害復旧費が、物価高騰対策給付金や価格高騰緊急支援給付金などの給付金事業の増加に伴い民生費がそれぞれ増加しました。

一方、ふるさと納税推進事業や各種基金積立金の減少により総務費が減少したほか、新型コロナウイルス対策や物価高騰対策として実施した商品券配布事業費の減少により商工費が減少しました。



歳出



■一般会計決算

項目	令和5年度	令和4年度	前年度比較
歳入(収入)	200億3,528万円	198億4,924万円	1億8,604万円 0.9%
歳出(支出)	191億 214万円	192億7,218万円	△1億7,004万円 △0.9%
形式収支(差引額)	9億3,314万円	5億7,706万円	3億5,608万円 61.7%
翌年度繰越財源	3億9,547万円	1億7,762万円	2億1,785万円 122.6%
実質収支	5億3,767万円	3億9,944万円	1億3,823万円 34.6%

■全会計決算

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	収支差引額	
一般会計	200億3,528万円	191億 214万円	9億3,314万円	
特別会計	国民健康保険	36億3,018万円	35億7,117万円	5,901万円
	介護保険	41億7,051万円	38億7,734万円	2億9,317万円
	後期高齢者医療	4億8,855万円	4億6,113万円	2,742万円
合計	283億2,452万円	270億1,178万円	13億1,274万円	

※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

決算

令和5年度一般会計・特別会計・企業会計の決算は、9月市議会定例会に議案を提出し、全会計とも認定されました。一般会計の歳入総額は、200億3,528万円(前年度比0.9%増)で、歳出総額は、191億214万円(同0.9%減)となり、3特別会計を合わせた歳入総額は、283億2,452万円(同0.6%増)で、歳出総額は270億1,178万円(同0.8%減)となりました。

また、一般会計決算の歳入総額から歳出総額を差し引いた額は9億3,314万円(同61.7%増)で、このうち翌年度へ繰り越した事業に必要なお金3億9,547万円を差し引いた実質的な収支額は、5億3,767万円(同34.6%増)となりました。ここで一般会計決算を中心に、令和5年度決算の概要をお知らせします。